

大東西小だより

学校目標 明るく 元気に 美しく

川越市立大東西小学校通信
第3号 児童数：550名
令和5年5月31日(水)
校長 米塚 貴洋

学校生活はマスクの着用をもとめないことが基本

先月は、ご多用の中、個人面談にご来校いただきありがとうございました。面談では、短い時間ではございましたが保護者の皆様と直接お会いして情報交換したことで、児童の様子がよく分かり大変有意義な時間となりました。今後も学校は家庭と連携しながら、児童の健全育成に努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、4月1日から「学校生活はマスクの着用を求めないことが基本」となっております。それから約2ヶ月経りましたが、低学年ではマスクを外している子が多く見受けられますが、学年が上がるにつれ外している子は少なくなっていくと思います。感染不安や、自分や同居家族の健康上の理由からマスクを着用する子もいることでしょうか。しかし、マスクがまるで洋服や下着の一部になっている子はいないでしょうか。「顔を見せるのが恥ずかしい」という子がいますが、表情が見えないことから相手の気持ちを察することができなかつたり、無表情に見え怒っているのではと誤解が生じたりして、トラブルに発展するというケースがコロナ禍にはありました。また、自分の顔を出すことを極端に嫌がっている子がいるとすれば、それはとても心配です。ありのままの自分の個性を否定している恐れがあるからです。そのままではこれから先、自分自身をずっと受け入れることができず、その子の今後に負の影響が出てくるのではないのでしょうか。お子さんの自己肯定感を育てるためにも、人との円滑なコミュニケーションのためにも、マスクの脱着について、お子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか。また、これからは、更に暑くなり熱中症による危険が高まります。学校では、体育や外遊び、登下校の時間には、より一層、マスクを外すよう声かけをしていきます。ご家庭でも、熱中症防止のために、朝、家を出るとき等にお声がけをよろしくお願いいたします。



ボランティアさんによる読み聞かせ

調査の結果から成績が伸びた子は…

4月に、東京大学とベネッセが、全国の小学4年生～高校生に調査した「学習状況の変化などを聞いた調査(2022年)」の結果を発表しました。その中に興味深い内容がありました。そこで問題です。次の3つの中で「成績の伸び」との関連が最も強いのはどれだと思いますか。

①意欲を高めてから勉強する。②勉強法を理解してから勉強する。③たくさんの時間を勉強する。

同じ子の2021年と2022年の学習状況の変化と成績の伸びを比較した調査の結果では、答えは②でした。反対に、最も関連性が低いのは③だったそうです。ただやみくもに長時間勉強するよりも、上手な勉強法を理解してから勉強するほうが、成績には効果がありそうです。また、「勉強法」は「学習意欲」との関連性が強いようで、1年間で「上手な勉強法」が「わからない」から「わかる」に変化した子は、同じ1年間で学習意欲が高まり、学習時間も増え、成績も上がるということでした。では、「上手な勉強法」とは、どのような勉強法なのでしょう。

「上手な勉強の仕方がわかる」と答え成績が伸びた子を分析した勉強法

①学習の計画を立てる。②学習の状況を客観的にとらえる。③できなかったことをやり直す。④学習の意味を理解する。⑤他の解き方がないかを考える。…詳細や例については、紙面の都合でここでは書きませんがベネッセ教育情報のHP等で公開されております。家庭学習の取組の参考にはいかがでしょうか。学校では、7月のお話生活朝会の話題にする予定です。